

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Space Kids 沖縄			
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	令和7年2月25日 ～ 令和7年3月8日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の見える化	職員の強みを活かしたプログラムを計画し、月・曜日ごとの活動スケジュールを配信。お子さまの「行きたい気持ち」に繋がる取組を継続している。	活動予定は今後も継続して発信し、曜日ごとの内容も整理して毎月初めにお知らせできるよう努める。見通しを持ってすることで子どもの楽しみや通所意欲につなげていく。
2	お子さまの「行きたい気持ち」を支える支援 保護者との日常的な連携と共通理解	保護者より「日々のやりとり感謝」「写真は1点程度で十分」「情報が多いと他のお知らせを見逃すことがある」などの声を受け、写真や文章量の精選を意識。曜日ごとに楽しみにする様子や、児童同士の関係から行き渋る様子への気づきを重視し、ご家庭との連携強化に取り組んでいる。	職員間の情報共有の差をふまえ、共有意識の向上に努めている。活動報告では地域交流の様子を一言添える工夫を実施。保護者の声を受け、写真は原則1日2枚、LINE配信は箇条書き等で簡潔に。重要事項はPDFで配信し、確実な周知を図る。曜日ごとの楽しみやおやつなどの工夫を継続し、「行きたい」と思える場づくりを推進。
3	活動内容の工夫（固定化防止） 通所環境・安心できる空間づくり	季節感や変化のあるプログラムは好評で、月ごとのテーマ設定も保護者に伝わりやすく、活動の様子とあわせて共有している。「一人になれる場所」の設置により、安心感につながっているとの声も多く、子どもの気持ちに寄り添った配慮を行っている。	活動は固定せず、職員の強みを活かした多様な内容を継続的に提供。あわせて、仕切りやテントなどによるパーソナルスペースの拡充も検討している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	面談の充実と効率化 家族支援・情報提供 通所時間の見直しニーズ	家族支援は重要と捉えているが、ペアトレや勉強会などは未実施で今後の課題。長期休暇中の早期受入れ希望や、面談内容の事前共有に関する声も受け、今後の対応を検討していく。	5月に保護者会を実施予定。療育内容の共有や学びの機会を提供する。長期休暇に向けて早番体制を検討し、保護者アンケートでニーズを把握。面談時は事前記入シートを導入し、視覚的な情報も活用して具体的で分かりやすい対話を目指す。
2	事故・トラブル時の対応 安全対策・マニュアルの周知	避難訓練は年2回実施。契約時にマニュアル説明は行っているが、保護者への再周知が課題。怪我の報告については「丁寧で安心」との声がある一方、報告漏れのご指摘もあり、真摯に受け止め改善に努めている。	訓練の実施報告や写真を共有し、保護者の安心感につなげている。職員間でマニュアルの共通認識も再確認。事故・トラブル時は当日中の速やかな報告を徹底し、内容確認と原因・対策を明確にした誠実な対応を行う。
3	地域との関わり・交流機会	地域公園での自然な交流はあるが、計画的な地域連携は少なく、今後の課題。自治会とは年数回交流があり、文化祭やハーリーにも参加。今後は交流機会の拡充も検討していく。	夏祭りなど地域イベントへの参加を通じて交流を深め、子ども園や学童クラブとの連携も検討中。活動場所となる公園等の清掃活動も継続している。